

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	農道水路整備事業			コード	7303	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	農林水産課	作成者	吉沢 透
3 事業概要	目的体系	基本目標	人が集い、にぎわいと活力あふれるまち			
		政 策	産業の振興	施 策	農林漁業の振興	
		予算科目	農道水路整備事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	農業用水路を良好な状態に整備する		
目的	対象者	農業者	
	意 図	水路の適正な管理と農業の効率を上げる	

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由
農道水路において、通常使用で老朽化した公共構造物の整備は、農業振興において必要不可欠である。	

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画			
予定全体事業費	60,000,000	円	事業期間	H30～R10
29年度まで	水路整備：L＝1875m、ポンプ更新：13基			
30年度	水路整備：L＝50m、ポンプ更新：2基			
元年度	水路整備：L＝50m、ポンプ更新：1基			
2年度以降	水路整備：L＝500m、ポンプ更新：9基			

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況		
29年度まで	水路整備：L＝1455.7m、ポンプ更新：10基、		
30年度	ポンプ更新：1基、除塵機改修：1箇所、常現寺ため池測量設計委託業務：1件 農業水利施設個別施設計画：1件		
元年度	ポンプ更新：1基、汐ゲート設置：1基、農業水利施設個別施設計画：1件		
前年度の課題への対応	水路整備及びポンプ更新事業、個別施設計画は計画的に行っている。		

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	70,632,087	3,663,376	4,851,000	9,387,000
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	70,632,087	3,663,376	4,851,000	9,387,000
* 臨時的経費の説明	農業水利施設個別施設計画策定委託料、農道水路整備工事費			
② 人件費		1,840,000	3,040,000	3,040,000
正規職員の人数(人)		0.23	0.38	0.38
③ 合計コスト(①+②)	70,632,087	5,503,376	7,891,000	12,427,000
前年度比			143.4%	157.5%
財源				
一般財源	34,752,087	5,503,376	6,091,000	7,327,000
内訳				
特定財源	35,880,000	0	1,800,000	5,100,000
* 特定財源の説明	市債、国庫補助金			

●事業の評価 (CHECK)

9 事業の進捗状況

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	117.7%	123.8%	131.9%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	<p>(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設は経年による老朽化が目立ち始めている。 H25・H26年度でため池調査業務を実施し、H27年度以降のため池整備の計画を策定。
	今後	<p>(2年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経年による施設の老朽化。 防災重点ため池の見直しにより、優先的に防災重点ため池の整備が図られる。 令和2年度で農業水利施設の個別施設計画の策定が終了する。 個別施設計画の策定により、公共施設等適正管理推進事業債の活用が可能。

●改善の内容 (ACTION)

10 今後の課題と対応策

今後の課題	<p>(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、2年度以降に課題になること)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化による工事費や委託料が増加する。 農業用水利施設数が多いため、個別施設計画策定に伴い計画的に実施する必要がある。
課題への対応策	<p>(上記の課題をふまえて2年度に実施する、具体的な対応方法)</p> <p>補助事業等を活用し計画的に事業を実施する。</p>

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---